

(1) 田 子 内 橋 正 面。

田子内橋架設工事概要

秋田縣土木課長 高 田 廣

(1) 位 置

本橋は秋田縣より岩手縣に通ずる主要道路たる府縣道増田、水澤線の要衝に位し雄物川の支流たる成瀬川の溪谷に架設せるものにして秋田縣雄勝郡東成瀬村字田子内部落に存す。

(2) 型

鐵筋混凝土無鉸開側拱橋

(3) 設計要項

全 長 38.82米
拱支間 32.00米

拱 矢 5.50米

有効幅員 5.50米

有効面積 213.51平方米

縦斷勾配 1/150 拋物曲線

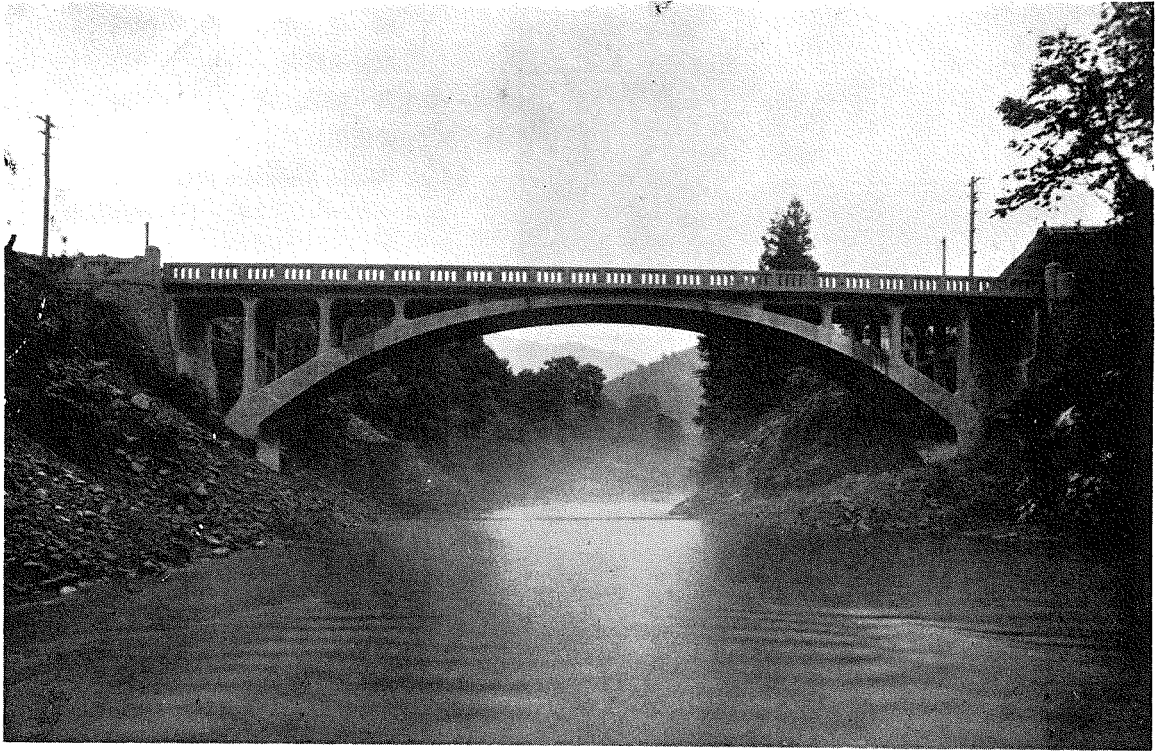
横斷勾配 1/50 拋物曲線

荷 重 第三種

(4) 横造の大要

(1) 拱架工事

基礎は充分に杭打をなし又は岩盤に1尺以上掘鑿挿入し材料は全部松材を使用せり。桁は5連より成り敷板は9種×15種の



(2) 田 子 内 橋 側 面。

松正角材を使ひ鉋にて表面を圓弧に仕上げ尙拱環部との接觸面にはアスファルトフェルト紙を用ひたり。

(ロ) 拱環工事

拱環基礎は硬岩上に充分喰込ませ拱環厚は起拱點に於て 1.20米拱頂點に於て 0.50米基礎幅は 6.00米、拱環幅は 5.00米にして拱環軸は理論的形狀線とせり。

拱環部のコンクリート打は數段に分ち四日間を以て定了せり。

(ハ) 柁床工事

上部工は拱環上に支柱を以て支へられ之れに徑間 3.20米の四徑間連續の柁を架渡し橋床は 15 糎厚の鐵筋混凝土床版とす。

(ニ) 鋪裝工事

配合 1:1.5:3 厚さ 5 糎のコンクリート鋪裝

(ホ) 高欄工事

柁面よりの高さ 0.80米にして花崗擬石洗出し仕上とす。

(五) 撓度

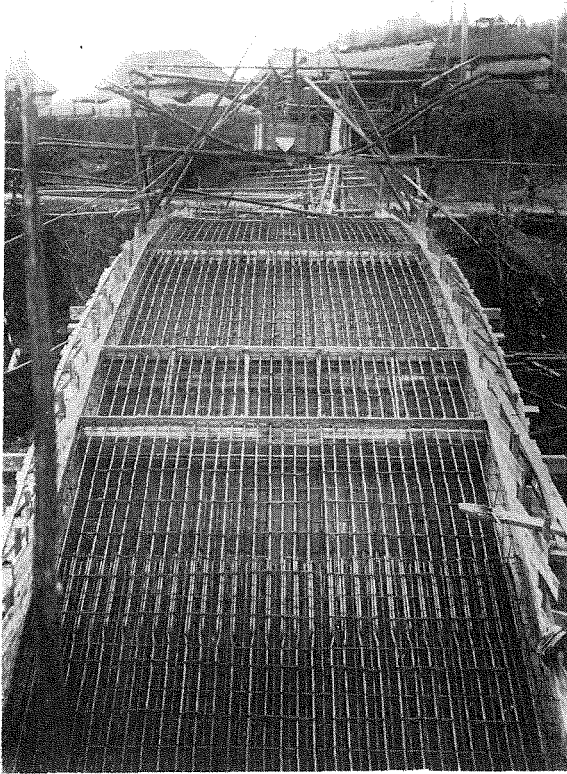
最初 22 耗の揚越を附したるに混凝土打終了後 2 日目に於て測りたる處 13 耗の沈下を見たり而して拱架取はづし後更に測りたるに約 1—2 耗程度の撓度を見たり。

(六) 取付道路

左岸取付道路延長 100米 幅員 5.50米
右岸 " 120米 " "

(七) 所要工費

總 額 19,297.00圓



(3) 田子内橋拱環配筋。

内橋梁費	16,447.00圓
取付道路費	2,850.00圓
一平米當り橋梁工費	77.03圓

(8) 主要使用材料

(4) 拱環部(橋臺部も含む)

コンクリート(1:2:4)	179.84立方米
" (1:3:6)	83.48 "

鉄筋 17,368.73疋

(ロ) 橋床工事

コンクリート(1:2:4)	134.51立方米
鋪裝混凝土(1:15:3)	213.29平方米
高麗、親柱洗出面積	161.51平方米
鉄筋	13,154.68疋

(9) 設計及監督

秋田縣土木課

(10) 施工

秋田市和賀組請負

(11) 工期

着工 昭和十年三月

竣工 同 年八月

(4) 拱架並に床版コンクリート工事。

